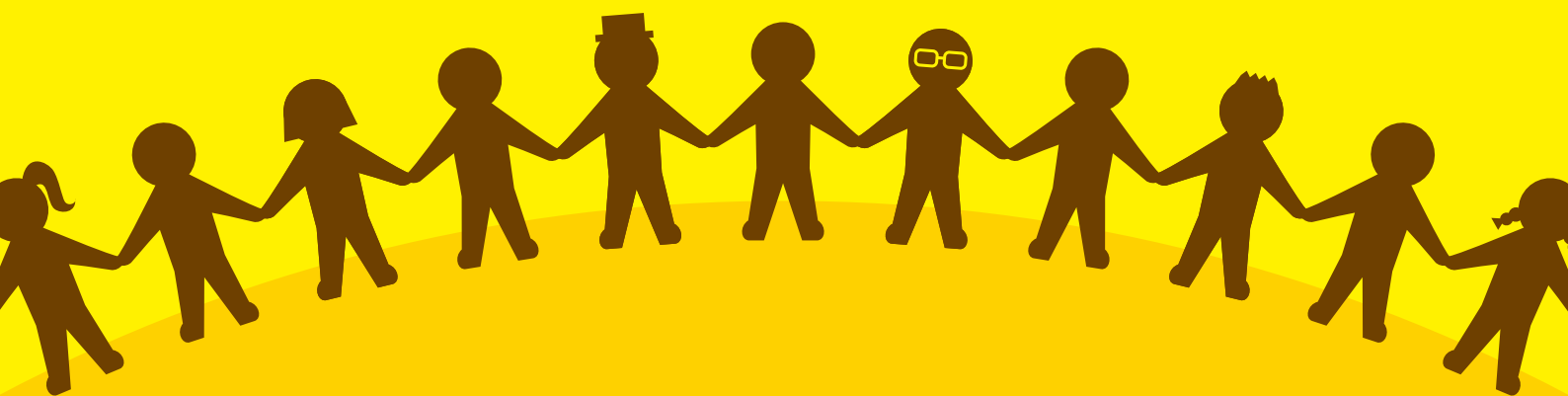


community capacity

地域力

を鍛える

～“分かち合い”で築く かながわ の未来～



2012年12月15日(土) 13:30-17:00

16日(日) 9:30-17:00

会場 湘南国際村センター（神奈川県葉山町）

参加費 1,000円

※昨年度の円卓会議「新しいかながわを築く～コミュニティを支える医療・教育・文化～」講演報告書進呈

定員 80名（定員を超えた場合抽選）

締切 12月7日（金）



モデレーター 神野 直彦 東京大学名誉教授

基調講演 伊東 豊雄 建築家



神野 直彦



伊東 豊雄



主催 公益財団法人かながわ国際交流財団 神奈川県
協力 横浜市民放送局

地域力

を鍛える

“分かち合い”で築く かながわの未来

東日本大震災で地域の“絆”が注目されましたが、いま日本では、少子高齢化が急速に進み、また文化の画一化をもたらすグローバル化が進むことによって、全国各地でその土地の風土に合わせた生活様式が受け継がれにくくなっています。そうした状況下で、私たちの暮らしを支える地域医療や福祉を守り、のびのびと子どもを育てる環境を創るために、私たちは何ができるのでしょうか。今こそ、地域の資源を見つめ直し、活用しながら、その土地独自のまちづくりで地域力を鍛えることが求められているのではないのでしょうか。

そこで、今回の21世紀かながわ円卓会議では、被災地でのコミュニティづくりに向き合ってきた伊東豊雄さんと、県内でそうした活動をされている実務家の方々のお話を聞きながら、私たちそれぞれに何ができるのか、会場が一体となった討議で一緒に考えてみたいと思います。

参考データ…神奈川の現在

医療 10万人当たりの一般病院数および病床数/看護師・准看護師数

- ・一般病院数3.3施設（全国5.9施設）
- ・一般病院病床数685.5床（全国1042.9床）
- ・看護師・准看護師数694.4人（全国1030.9人）

教育 各年齢層（小学校数：6～11歳、中学校数：12～14歳、高等学校：15～17歳）における人口10万人当たりの学校数

- ・小学校数183.1校（全国319.3校）
- ・中学校数194.6校（全国303.8校）
- ・高等学校数93.3校（全国143.1校）

人口 少子高齢化が急速に進み、核家族・単独世帯割合も高い

- ・老年人口（65歳以上）の5年間（2005→2010）の増減は1.23倍（全国1.14倍）
- ・合計特殊出生率1.29（全国1.39）
- ・1世帯当たり人員2.33人（全国2.42人）
- ・核家族世帯割合59.3%（全国56.3%）
- ・単独世帯割合33.8%（全国32.4%）

出典：『ランキングかながわ～統計指標でみる神奈川～』（神奈川県統計センター、平成24年1月発行）

基調講演者プロフィール



伊東豊雄(いとうとよお) 建築家

1941年生まれ。1965年東京大学工学部建築学科卒業。1971年アーバンロボット設立。1979年伊東豊雄建築設計事務所に改称。近作に、「2009高雄ワールドゲームズメインスタジアム（台湾）」、「今治市伊東豊雄建築ミュージアム」など。ヴェネチア・ビエンナーレ「金獅子賞」、王立英国建築家協会（RIBA）ロイヤルゴールドメダルなど受賞。

東日本大震災では代表作の一つである「せんだいメディアテーク」が被災し、その復旧に携わったことをきっかけに復興活動に精力的に取り組んでいる。仮設住宅における住民の憩いの場として提案した「みんなの家」は、これまでに仙台市、釜石市、陸前高田市に完成し、現在も2～3件の計画が進んでいる。2012年のヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展では、日本館のコミッショナーに就任。陸前高田の「みんなの家」の設計プロセスを紹介し、「建築とは何か」を問いかけた展示は国別参加部門で最高賞の金獅子賞を受賞した。また釜石市では復興ディレクターを務め、自治体及び住民双方の意向を取り込んだ復興構想の具体化に向けて模索が続いている。

2011年に私塾「伊東建築塾」を設立。若く優れた建築家の育成を目指す「建築家養成講座」、国内初の試みとなる児童対象の継続的な建築スクール「子ども建築塾」などを開講し、建築と社会のつながりを深める活動を行っている。

みんなで考える地域力を鍛えるためのプログラム

その1 2日間にわたる〈討議〉の流れを共有

〈討議〉（1日目と2日目午前）のプログラムでは、多分野から集うNPOや研究者からなる討議者の方々が、基調講演者や話題提供者の方々とディスカッションを展開します。それらの発言を会場内に貼りだした模造紙に記録して、2日間会場内で共有します。



その2 参加者のみなさんを含めて会場全体で〈ダイアログ〉

2日目午後の〈ダイアログ〉のプログラムでは、参加者のみなさんも含めてテーブルごとに話し合いをします。伊東豊雄さんの基調講演や、県内で活動されているNPO等からの話題提供を聞いて、あなたが感じた思いを話してください。各テーブルの取りまとめ役は、話題提供者・討議者の方々が行います。



その3 Ustream/facebook/twitterを使って、広く発信

当日はUstreamを使って、会場の様子を配信します。また、facebookでは、基調講演者・話題提供者・討議者の方々に関する情報を集めて発信します。

なお、「地域力を鍛えるための私の提案」を募集しますので、twitterを通してあなたの意見をつぶやいてみてください。

- Ustream & facebook 「21世紀かながわ円卓会議」
- twitter 「湘南国際村学術研究センター(KIF)」
@KIF_shonan_PR



12月15日(土) 13:30～17:00

開会挨拶	13:30	福原義春（公益財団法人かながわ国際交流財団理事長）
趣旨説明	13:40～14:10（30分）	「地域力を鍛えるために」 モデレーター：神野直彦（東京大学名誉教授）
基調講演	14:10～15:10（60分）	「『みんなの家』に込められた思い」 伊東豊雄（建築家）
休憩	15:10～15:30（20分）	コーヒープレイク
討議	15:30～17:00（90分）	「私の提案」をめぐる 話題提供者・討議者全員が発言
1日目終了	17:00	運営委員コメント

12月16日(日) 9:30～17:00

前日の振り返り	9:30～9:40（10分）	モデレーター：神野直彦（東京大学名誉教授）
第Ⅰ部 話題提供	9:40～12:20 （160分：80分×2セッション）	①地域力を育む“分かち合い”のかたち 20分×2 話題提供者①鷺尾公子（NPO法人ぐるーぷ藤・理事長） 話題提供者②酒井太郎（「さかい内科・胃腸科クリニック」院長） 討議 40分 ②地域力をいかに培い、受け継いでいくか 20分×2 話題提供者①池田雅之（NPO法人鎌倉てらこや理事長） 話題提供者②岡部友彦（コトラボ合同会社代表社員） 討議 40分
昼食	12:20～13:20	
第Ⅱ部 ダイアログ	13:20～14:40 （80分）	ダイアログにあたって（20分） コメント 西村幸夫（東京大学副学長）他 ダイアログ（30分×2） 「私が理想とする地域の姿」 「地域力をいかに培い、受け継いでいくか」
休憩	14:40～14:50	
第Ⅲ部 総括 セッション	14:50～16:50 （120分）	ダイアログ 各テーブルからの報告（30分）+運営委員コメント（10分） 対談 「地域力を鍛えるための鍵は？」 50分 西村幸夫×伊東豊雄 司会：樺山紘一 全体ダイアログ 話題提供者・討議者・一般参加者からコメント 30分
総括	16:50	モデレーター：神野直彦（東京大学名誉教授）
閉会	17:00	



■討議者の方々（11月1日現在）

小川 泰子 社会福祉法人いきいき福祉会専務理事
 後藤 千恵 NHK解説委員
 竹原 和泉 NPO法人まちと学校のみらい代表理事
 中畠 弘孝 神奈川新聞社論説主幹

久田 邦明 神奈川大学講師
 森 高一 NPO法人日本エコツーリズムセンター世話人
 レシャード・カレッド レシャード医院院長／NGO「カレーズの会」理事長
 ※最新の討議者についてはホームページをご覧ください

■21世紀かながわ円卓会議の企画を立案した運営委員会の方々：

樺山 紘一 印刷博物館館長／東京大学名誉教授
 高島 肇久 株式会社日本国際放送特別専門委員
 黒田 玲子 東京理科大学教授

福原 義春 公益財団法人かながわ国際交流財団理事長
 武藤 誠 公益財団法人かながわ国際交流財団常務理事

申込方法

締切

12月7日(金)

○申込み欄もしくはメールに以下の項目を記載してお申込ください。申込み締切は、**12月7日(金)**です。申込者多数の場合には抽選となりますが、結果の如何に関わらずお申込いただいた方全員へご連絡いたします。

○12月16日(日)の昼食は湘南国際村センター内2階のレストラン“桂”または1階のカフェテリア“オーク”のご利用ができます。“オーク”での食事(1,200円)は事前申込みが必要です。ご希望の方は申込書の所定の欄にチェックをご記入ください。

※ご登録いただいた個人情報は、当財団のみが取り扱い、本講演会の事務や当財団のイベントのご案内以外の目的には使用いたしません。

申込みFAX **046-858-1210**

E-MAIL **entaku@kif.ac**

フリガナ氏名			
所属		部署	
住所	〒		
電話		ファックス	
メール		12月16日 昼食	☐ 希望する(当日に参加費とともにお支払いください)

地域力を鍛えるための私の提案

プログラム2日目には会場のテーブルごとに行う、「ダイアログ」があります。その話し合いをより充実したものにするために、今、あなたの考える「地域力を鍛えるための私の提案」をお書きください(120字以内)。お寄せいただいた提案は、当日の資料としてお配りします。メール(entaku@kif.ac宛て)で送信していただいても結構です。

●私の提案(120字以内)

●お名前(ペンネーム・匿名でも結構です)

湘南国際村センター(葉山町上山口1560-39) 交通案内

①逗子駅・新逗子駅発 湘南国際村行きのバス

JR逗子駅前1番乗り場より「湘南国際村」行きバスに乗車、「湘南国際村センター前」下車。約30分、340円。

JR逗子駅発車後2〜3分で、京急新逗子駅前1番バス乗り場に停車。

②京急汐入駅発 湘南国際村行きのバス

京急汐入駅前2番乗り場より「湘南国際村」行きバスに乗車、「湘南国際村センター前」下車。約30分、370円。

【タクシーをご利用の場合】 JR逗子駅前タクシー乗り場より湘南国際村センターまで約15分、約2,800円。

【高速バスをご利用の場合】 横浜駅東口(Y-CAT)より湘南国際村センターまで約40分、900円。

【交通案内HP】 <http://www.k-i-a.or.jp/shonan/access/>

お問い合わせ

(公財) かながわ国際交流財団 湘南国際村学術研究センター (担当: 清水)
電話 046 (855) 1821 メール entaku@kif.ac